

事務事業名		空家等対策事業			目標設定日	平成31年3月1日
					部・局	建設水道部
総合計画体系	基本政策	5	安心・安全な住みよいまちづくり		課・室	都市計画課
	政策	06	身近な生活基盤の充実		係	建築住宅係
	施策	04	良好な住環境の整備		内線電話	273,358
予算体系	会計	一般会計			実施計画	
	款	8款	土木費		未計上	
	項	4項	都市計画費		実施期間	
	目	5目	建築景観費		平成29年度～	

目指す姿	対象（誰のために）	市内の該当する建物周辺住民	意図（どのような状態にしたいのか）	適切な管理が行われていない空家等の状態を解決することにより、市民の安全性の確保や生活環境の保全を図る。
	現状・課題	市内に適切に管理されていない空家等が確認されるため、所有者等の調査、空き家の状態を通知している。問題解決に向けた具体的な支援策を策定する必要がある。		
市が行う理由及びその根拠	義務的自治事務	空家等対策の推進に関する特別措置法		
事務事業概要	空家等に対する施策を検討するとともに、空家等の調査の実施及び空家等の所有者による適切な管理の必要性を啓発、空家等の処分・活用の促進を促す。			
平成31年度の活動指標アウトプット	活動内容		活動量	
	平成30年度に区長あて依頼した調査に基づく空家の現地及び所有者確認		385件	
	空家等の調査依頼及びデータベース化		1回	
	確認された空家等の所有者に対する意向調査		1回	

事務イン 事業プ ット	項目		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	予算額	当初予算	円		134,000	101,000
補正予算		円				—
合計		円		134,000	101,000	269,000
決算（見込）額 A			円	100,500	101,000	—
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	市債	円				
	その他特定財源	円				
H31は予算額	一般財源	円		100,500	101,000	269,000
正規職員数		人		0.56	0.57	0.57
人件費 B		円		3,611,440	3,667,380	3,667,380
総事業費 A+B		円		3,711,940	3,768,380	3,936,380
市民1人当たりコスト		円		86	88	92

成果指標	アウトカム	方向	平成29年度		平成30年度		平成31年度		
対応優先度A及びBに該当する空家等の状態の改善		増加	目標	3	件	3	件	3	件
			成果	1	件	2	件	—	
空家等の調査依頼及びデータベース化		作成	目標	—	回	1	回	1	回
			成果	—	回	0	回	—	
成果指標と目標値を設定した理由	危険となる空家等の問題解決、空き家の活用により空家に係る市内の住環境が改善されるため。								

平成31年度の実施方針	例年どおり実施	活動量	維持する	コスト	維持する	成果	維持する
	中野市空家等対策計画に基づき、所有者への空家等の状態の情報提供や意向調査を行い、自主的な対策を促すとともに、中野市空家等対策協議会の意見を参考に事業の充実を図っていく。						

